

家庭学習を習慣化するために

家庭学習で基礎・基本を身に付けよう！

大穴中学校 学習指導部

「みなさんが中学校で一番身に付けたいなと思っている力は何ですか？」
こんな質問をすると、おそらく多くの人が「学力です。」
と答えると思います。

みなさんが身に付けたい学力、それも生きて役に立つ
「確かな学力」を身に付けるためには、
それぞれの教科の基礎・基本を確実に
定着させていかなければなりません。

基礎・基本が定着すれば、自信をもって次のステップに進めます。
わからないことを自分で解決しようとする力もつきます。これが「確かな学力」です。
ただ、この大切な基礎・基本は50分間の授業ではなかなか定着しません。

そこで、学校の授業に意欲的に取り組むことはもちろん、それと同じくらいに家庭学習を充実させることが中学校ではとても大切になります。このことは、学年に関係なくすべてのみなさんにとって大切なことです。

大穴中学校では、みなさんの学校での授業と家庭での学習を支援するために全学年を通じて「学習のしおり」を用意してあります。ご活用ください。また、次の2点にも取り組んでいきます。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 家庭学習の習慣を身に付けよう。2 みんなが学習しやすい「環境」づくりを進めよう。 |
|---|

1 家庭学習の習慣を身に付けよう

基礎・基本の定着には、家庭学習の充実が不可欠です。家庭学習で、予習をしてから授業に取り組むことで、「わかる」という実感が増えることでしょう。授業の復習をすることで理解が深まり、「できる」という実感がもてます。

そこで…

- ① 一週間の学習計画を立てよう。家庭学習は欲張りすぎず、実行可能な時間を設定する。
- ② 立てた学習計画を家族や先生に見てもらおう。やらなければならない状況に自分を追い込むことも時には、大切です。
- ③ 家庭学習の記録を家族や先生に見てもらおう。
- ④ アドバイスをもらい、さらに家庭学習が続けられるように次の計画に生かそう。

2 みんなが学習しやすい「環境」づくりを進めよう

家庭学習がある程度軌道に乗ってくると、多くの人が次のような問題に直面します。「もっと成績をあげたいけれど、どうしたらよいのだろう。努力すれば学力向上の可能性があるとわかっているけれど、部活や塾で忙しく勉強時間がとれない。または、眠くなってしまふ。毎日勉強していると、飽きてきて息抜きの時間が長くなる。難しく手が付けられない問題にイライラしてしまう。」など様々なことを感じるようになります。

そこで、各学年・各学級の仲間や先生たちと勉強できる環境づくりをみんなで作り上げてほしいです。

学習計画の立て方

家庭学習を習慣化するために学習計画を立てよう！

1 毎日の生活を充実したものにしよう

中学校生活を充実したものにするためには、1日の生活リズムを整えることが必要です。まず、大まかな1日の生活設計をしてみましょう。下に例を載せます。

大穴中学校では、1日の学習時間の目安を「学年+1時間」としています。時間の合理化を図り、確実に生活設計の中に組み込みましょう。まとめてとることが難しい場合は、朝・夕食前・入浴後など、分けることができます。

【生活設計の例】

	6:00	8:00	16:00	18:00	20:00	22:00
睡眠	食事など	学校	部活動	食事 風呂など	家庭学習	睡眠

*部活動終了時刻、最終下校時刻は時期により異なります。

2 実践目標は小刻みに

毎日の生活リズムができてきたら、小テストや単元テスト、定期テストなどを視野に入れた1週間単位や1ヶ月単位での学習計画を立ててみましょう。具体的な目標を立て、その実践に向けて取り組むことが大切です。後回しにしがちな不得意教科にも時間をかけることができるといいですね。

3 家庭学習を習慣づけよう

中学校では、各教科ともに宿題はあまりありません。そのかわりに自分で考えて家庭学習をしなければ、授業で学習したことが身に付きません。毎日、その日の授業を復習してもう一度、しっかりと覚え直しをしましょう。また、授業内容の理解を助けてくれるのは予習です。教科書を読み、新しい漢字や単語を練習したり、太字の語句の意味を押さえるだけでも、ずいぶん違ってきます。

大切なのは、毎日、繰り返し続けることです。学習効果は約3ヶ月後に表れると言われています。あきらめず、こつこつと努力をしましょう。継続は力なりです。

知識を身に付ける原則

- ① 声に出して読む（教科書を読む）
- ② 書き写す（ノートに書き写す）
- ③ わからない時は、基礎・基本に戻って考える
（前にさかのぼって、復習する）
- ④ 後でもう一度、学習する（反復練習をする）

<具体的な勉強方法>

*各教科の勉強方法は、「学習のしおり」をご活用ください。

(1) その日に授業で学習した教科を復習する。

- ① 教科書の学習した部分を読む。
- ② ノートを見直して、ラインを引いたり、大切なところを他のノートに書き写す。

*家庭学習ノートを作って活用するといいですね。

(2) 基礎・基本の反復練習をする。

- ① 漢字をノートに書いて覚える。
- ② 英単語をノートに書いて覚える。

*漢字や英単語の簡単なテストを作って、覚えられたかチェックをするとより記憶に残ります。

③ 計算練習をする。

*つまずきを発見したら、すぐに友達や先生に聞くなどして、わかるようにしましょう。

④ 学校で配られたワークブック（問題集）などをやる。

*問題は、何度も繰り返すことで確実に力がつきます。

(3) 次の日の授業の予習をする。

① それぞれの教科の授業内容を確認して、教科書の相当するページを読む。

② 新出漢字や語句、英単語などの意味や読み方を辞書を使って調べる。

*他には、表現力を高める学習として、作文や日記等もあります。

学習計画は

- (1) 毎日、確実に着実に
- (2) 無理をせず、できる範囲で
- (3) 自分のペースに合わせて

つくみましょう！

4 定期テストの取り組みを充実させよう

大穴中学校の定期テストは、1年間に4回あります。

前期に・後期にそれぞれ中間テスト（国語・社会・数学・理科・英語）と期末テスト（国語・社会・数学・理科・英語・技術・家庭科・保健体育・音楽）を実施します。

【R3年度 予定実施日】

- ① 前期中間テスト 6月10日・11日
- ② 前期期末テスト 9月9日・10日
- ③ 後期中間テスト 11月18日・19日
- ④ 後期期末テスト 2月17日・18日

(1) みなさんにとって、この4回の定期テストはとても重要な意味を持ちます。各教科の学習目標がどれだけ達成されたのかがわかるからです。どの教科も試験範囲は広く、一夜漬けなどでは到底覚えられない量があります。日頃の積み重ねとテスト前の取り組みがとても大切になります。

(2) 定期テスト4日前からは、部活動をはじめとする全ての諸活動が中止となります、万全の体制でテスト勉強ができます。テスト終了後は、各授業で答案返却が行われ、後日、成績個票が配られます。

(3) 定期テストの出題範囲表とテスト計画表は、テスト2週間前には配布されます。学活の時間を使って学習計画を立て、それに沿って家庭学習を進めます。

<計画の立て方>

- ① 塾や習い事、部活動の予定など自分の予定を『行事予定』欄に書き加える。その日に学習できる時間の目安を立てる。
- ② 各教科の『学習内容』欄には、教科書やワークのページ数（例：P5～P8）を必ず入れて学習しやすくする。
そうすることで、確実にテストの範囲を全て復習できるようになる。
- ③ 教科毎に2週間分の『学習内容』を点検して、範囲表に書かれたものが全て計画に入っているかを確認する。
- ④ 1日ずつの『学習内容』を点検して、無理がないかを確認する。
- ⑤ 調整日を入れたりすると、終わらせることが目的にならず、勉強の価値も上がります。

【テスト範囲 例】

R2 第〇学年 前期 中間テスト範囲

6月13日(木) (縮小)

教科 科目	テスト範囲	学習のポイント	持ち物、 提出物等
1 社会	新しい社会 地理 P.5～P.35 アクティブ地理 (資料集) P.2～P.31 社会の自主学习 地理 P.2～P.25	・六大陸や三大洋の名称を押さえておくこと。 ・地球儀と世界地図の特色が理解できているか。 ・緯度と経度を用いて地球上の位置を表すことができるか。 ・世界が六つの州から成り立っていること、そのうちの国の名称や位置を押さえておくこと。 ・自然環境が異なる地域の人々の生活を整理しておくこと。 ・繰り返しノートを直し、ワークも解いておくこと。	提出物： ①ノート ②社会の自主学习 提出期限：6/13(木)放課後 教科リーダーが回収して学年室へ
2 国語	聞き取りテスト 漢字ワーク (p.4～23) ふしぎ (pp.14～18) 音を聞いて書いて (pp.20～27) 笑顔という魔法 (pp.34～41) 文法 [言葉の単位、文の成分] (p.2～11)	・漢字や文法のワークをこつこつ取り組んでください。 ・授業中の内容をよくおぼえておきましょう。 ・ノートを整理しておきましょう。 ・本文を何度も読みましょう。	①漢字ワーク、ノート ②文法ワーク ③ (授業ノート) 各担当の先生に確認してください
3 英語	TOTAL ENGLISH 最初から37ページ 英語のパートナー最初から28ページ Power Up Phonix すべて	・アルファベット、ヘボン式ローマ字を正しく書けるか。 ・自分の好きなもの、好きではないものを伝える文が書けるか。 ・「いくつかすか」「何をしますか」などの表現が書けるか。 ・短い英語、やりとりを聞いて理解できるか。 ・教科書本文の内容を理解できているか。	提出物： ①ノート②英語のパートナー 提出方法：提出期限は各担当の先生の指示に従ってください。

6月14日(金) (縮小)

教科 科目	テスト範囲	学習のポイント	持ち物、 提出物等
1 理科	未来へ広がるサイエンス p1～p35 よくわかる理科の学習 p1～14	・ルーペや顕微鏡などの観察器具の使い方についているか。 ・スケッチのしかたが身についているか。 ・花、葉、実のつくりとはたらきを整理しておくこと。 ・葉で栄養がどのようにつくられるか、しくみを理解しておくこと。	提出物： ①ノート②よく分かる理科の学習 提出方法：テスト終了日に教科リーダーが回収し、第2理科準備室まで運ぶ
2 数学	小学校の復習 教科書1冊 P.12～P.59 ワーク P.2～P.30	・授業の内容をしっかりと振り返りましょう。 ・教科書の体積、授業中に解いた問題、ワークの問題を繰り返し解き、スピードと正確性を身につけるようにしましょう。 ・ワークのA問題は解けるようにしておきましょう。 ・用語の確認もしておきましょう。	提出物： ①ノート ②ワーク(よくわかる数学の学習) 提出期限：6月14日(金) テスト終了日に教科リーダーが回収し、学年室まで運ぶこと。 ※早く提出できる人は個人で担当の先生に提出しても可。

<テスト計画表の活用法>

- ① 『学習内容』が予定通りにできた時は、○を青で塗る。
- ② 『学習内容』が予定通りにできなかった時は、○を赤で塗る。できなかったものについては翌日(翌々日)の学習に追加して遅れを修正する。
- ③ 予定以外の学習ができた時は、その内容を赤ペンで追加で書き入れる。
- ④ 予定の『学習時間』を事前に記入する。また、その日に実施した時間を記入する。その日の学習を振り返って、『評価』のABCのいずれかを○で囲む。
- ⑤ 生活の記録や家庭学習とともに、毎日提出してチェックを受ける。
- ⑥ テスト終えての反省(今回、何を頑張れた?、何をもっと頑張りがかった?、次回は、どうしたい?)を記入して、担任に提出する。

【テスト計画表 例】

令和3年度 前期中間テスト 学習計画表											
		年 組		番 氏名							
【目標】											
				国語	数学	理科	社会	英語			
				点	点	点	点	点			
【学習スケジュール】 ※テスト計画作成については、参考資料を活用しましょう。また、「学習のしおり」をよく読んでください。 ※学習内容が予定通りできたときは、○印を青で塗る。できなかったときは赤で塗る。											
月日	曜	行事予定	国語	数学	理科	社会	英語	学習時間	評価	担任印	
5/26	水	部長会	○	○	○	○	○	時間 分 時間 分	A・B・C		
5/27	木		○	○	○	○	○	時間 分 時間 分	A・B・C		
5/28	金		○	○	○	○	○	時間 分 時間 分	A・B・C		

家庭学習をしよう！

目的：毎日、机に向かう時間をつくる。

自分に「足りないな」、「もう少し学習しよう」というところをやるのが、家庭学習です。家庭学習を続けると、授業や勉強に対する自信がつかえます。そうすると、学校生活や部活動にも自信をもって臨むことができます。中学生の学習時間は、学年プラス1時間（1年生は2時間）と言われています。毎日勉強を続けることができるとよいです。毎日、机に向かい学習する時間をつくりましょう！

家庭学習のきまり

- ・何を学習するか書こう。
- ・1日1ページやろう。
- ・ノートになるべく書き込もう。

<開始日> 4月19日（授業最初の日）

<提出日> 4月20日

やることに困ったら…

漢字や英単語、計算問題を練習する。
その日に習った授業のノートをもう一度、整理する。
各教科の問題集等を解く。
応用問題に挑戦する。

今日の成果は過去の努力の成果であり、未来はこれからの努力で決まる。